

令和7年6月27日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 令和7年6月27日（金曜日）

午後1時15分から午後2時10分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

|     |        |     |       |     |        |
|-----|--------|-----|-------|-----|--------|
| 教育長 | 金澤 俊道  | 委 員 | 熊倉 達也 | 委 員 | 大久保 真紀 |
| 委 員 | 廣川 佳予子 | 委 員 | 恩田 富太 |     |        |

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

|                |        |                   |       |
|----------------|--------|-------------------|-------|
| 子ども未来部長        | 星野 麻美  | 教育部参事（科学博物館長事務取扱） | 金垣 孝二 |
| 教育総務課長         | 佐藤 陽子  | 教育施設課長            | 野崎 敏行 |
| 学務課長           | 大竹 美加  | 学校教育課長            | 中村 一幸 |
| 学校教育課主幹兼管理指導主事 | 小嶋 修   | 学校教育課主幹兼管理指導主事    | 本間 祐史 |
| 中央図書館長         | 梅沢 一茂  | 子ども政策課長           | 松木 祐子 |
| こども家庭センター所長    | 大久保 千春 | 保育課長              | 江田 佳史 |

6 事務のため出席した者

|          |       |           |      |
|----------|-------|-----------|------|
| 教育総務課長補佐 | 山内 清美 | 教育総務課庶務係長 | 今井 香 |
|----------|-------|-----------|------|

## 7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 6 月定例会を開会します。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員の指名について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、熊倉委員及び廣川委員を指名します。

---

### ◇日程第 2 議案第 32 号 専決処理について（補正予算の要求について）

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 32 号 専決処理について（補正予算の要求について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(大竹学務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり承認しました。

---

### ◇日程第 3 議案第 33 号 長岡市保育園条例施行規則の一部改正について

(金澤教育長) 日程第 3 議案第 33 号 長岡市保育園条例施行規則の一部改正についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

(江田保育課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

---

◇日程第4 議案第34号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第4 議案第34号 附属機関委員の委嘱について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

---

(金澤教育長) 以上をもちまして、議案の審議を終了します。

---

(金澤教育長) 続きまして、報告事項に移ります。

(金澤教育長) はじめに、6月議会における教育委員会関係の質問事項についての報告です。事務局の説明をお願いします。

(星野子ども未来部長) <配布資料とする旨説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(熊倉委員) 高橋美里議員が、「自立」に関する質問をされています。障害を持つ子どもの「自立」についての質問だと思いますが、答弁には、「自分らしく主体的によりよく生きていくことを考える。」とあり、自己決定、自己選択できることは良いと思いますが、議員は自立をどのように捉えているのでしょうか。また、どのように捉えて欲しいとお考えなのかについて、意見表明などはあったのでしょうか。

(中村学校教育課長) 議員御自身が、特別支援教育をフルインクルーシブ教育として特別支援学校や支援学級に分けずに一体的に実施した方が良いのか、インクルーシブ教育システムとして特別支援学校、特別支援学級においてそれぞれの特性に合わせて支援をしていくことが良いのかを迷っている中での質問でした。打ち合わせの際などに、大切なことは子どもたちの自立に向けた適切な支援を行うことであることを説明したところ、議会において長岡市として自立をどのように考えているのかという観点で質問されました。

(熊倉委員) 明確な方向性についての意見表明は無かったということでしょうか。

(中村学校教育課長) 意見表明はありませんでした。

(熊倉委員) 長岡市の出方を伺い、納得をされたということですか。

(中村学校教育課長) はい、そのとおりです。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 高橋美里議員の児童クラブの民間委託に伴った質問の答弁に係り、3月末で退職した職員について、退職に際して労使の問題などがあったのか、または円満に退職されているのか等の状況について把握されていますか。

(松木子ども政策課長) 高齢のため、民間委託への切り替えをきっかけに退職された方がいるということは聞いています。勤務条件については、これまでより待遇が低くなったということはありませんので、労使間の問題は無いと思います。職場の環境も変わりませんので、問題は無いと思います。退職された方は、これまで退職のタイミングを迷われていた方が大半だと思います。

(恩田委員) 退職にあたっての大きな問題は無かったということで市議は納得されたということですね。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(大久保委員) 文教福祉委員会での笠井綾華議員の質問で、答弁の中に「性に関する指導についても現状を踏まえ、子どもの実態に合わせて工夫していくことが大切である」とありますが、現状として実態を踏まえて具体的に工夫されていることについて教えてください。

(小嶋学校教育課主幹兼管理指導主事) 笠井綾華委員は、インターネット等に性に関する情報が氾濫している中で、そういった実態に合わせて性の指導をしていく必要があるという思いを持って質問されました。市教委としては、実態を踏まえ、学習指導要領に基づき子どもの発達段階にあわせて指導していることや、専門家の指導を仰ぐことで専門的な部分を補う工夫をしているという話をしました。

(大久保委員) 学校などでのインターネットが関係したトラブルの話を聞くと、性的なものを多く聞きます。インターネットで見たものについて、それが悪いものだという認識が無く、見たことを行動してしまう傾向があると思います。学校での教育はとても大切だと思いますので、是非、現状を踏まえて工夫して力を入れて取り組んで欲

しいと思います。

(金澤教育長) 日本の性教育は具体的な指導が無く、踏み込んでいないという批判が多くありますが、積極的に踏み込んだ教育をしている東京都足立区では、使用している教材が逸脱しているのではないかと話題になり都議会で取り上げられていました。性教育に関しては色々な考え方の方がいるため、子どもたち全員に対して性教育をどこまで一律的に踏み込めるかというのは難しい問題です。一方で、インターネットで色々な情報を得て、少し歪んだ考え方を持ったり、そこに興味関心を持ったりしている子どもや、犯罪に巻き込まれてしまう可能性のある子どもが目の前にいるわけです。そういった状況の中で何が必要なのかというと、全体への指導と個の指導を切り分けながら、個の指導については、その時々の子の姿や考え方を、状況に合わせて個別に指導していく必要があるということです。答弁にはそのような意図が込められています。言葉に置き換えることが難しい面もありますが、様々な考え方の人がいるため全体指導として振り切って長岡市として実施することはできませんが、個々のケースには実態を踏まえながら指導をしていく意図を汲んでいただければと思います。現状としては、大久保委員が心配しているケースについては、個別に対応する必要があると考えています。

(金澤教育長) 他に御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 続いて、教育委員会関係工事等の入札状況について 事務局の説明をお願いします。

(野崎教育施設課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 続いて、教育委員会関係財産の取得について 事務局の説明をお願いします。

(大竹学務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 議会案件以外の給食用食器の購入についても説明をお願いします。

(大竹学務課長) 給食用食器の購入については、資料に記載の契約の他に、予定価

格が2千万円以下であったため議決案件にならなかった契約が一件あります。今回、納品のほか、古い食器を回収する契約として、共同調理場の南北と、学校単独で調理している学校を川東と川西に分け、全体として4件に分けた契約をしました。そのうち、共同調理場の南側分の契約、具体的には旭岡、川口、越路学校給食共同調理場分の予定価格が2千万に達しなかったため資料に掲載はありませんが、今回、全ての学校の給食用食器について購入をするものとなります。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 川西と川東の契約で、給食用食器の取引先が異なっていますが、理由がありますか。

(大竹学務課長) 最低価格で入札した取引先が決定しています。品質やサイズについては同一になります。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(熊倉委員) 食器の材質はメラニンやプラスチックですか。

(大竹学務課長) 現在使用している食器と同じ、pen 樹脂の食器になります。

(熊倉委員) 単純計算すると一つあたり千円位となり、高価ですね。

(大竹学務課長) 毎日、機械での洗浄と一時間の熱消毒をしますので、90度以上の熱に耐え、高熱になっても化学物質が出ない食器を使う必要があるため、品質が良いものを扱うため値段的には高くなります。かなり丈夫な作りになりますが、汁椀、トレイなどの頻度が高い食器の耐用年数は5年が限度になります。どんぶりやカレー椀など、頻度が少ない食器は10年位持ちます。現状としては、トレイが意外に損傷しています。

(廣川委員) スプーンなどのカトラリーも交換しますか。

(大竹学務課長) 今回の契約では交換しませんが、今年を含め4年間で計画的に総入れ替えをします。

(金澤教育長) 今年は箸の入れ替えを予定していますね。

(大竹学務課長) はい。箸は今年度に全部入れ替えます。

(熊倉委員) 食器の廃棄はどのようにされるのですか。

(大竹学務課長) 全て、納品の時に回収します。回収された pen 樹脂は、一部はリサイクルし、他はすべて溶かして燃料になるそうです。

(廣川委員) 学校は樹脂製とのことですが、保育園は瀬戸物の食器だったと認識していましたが、どうでしたか。

(大竹学務課長) 以前聞いたところでは、保育園の年齢の子どもは重さがあった方が持ちやすかったり、「重い」という経験が大切だということや、学校給食と違い食器は手で洗うため、保育士さんが選別して子どもの育ちに合わせた食器を使っていると聞いたことがあります。

(江田保育課長) 保育園の食器については磁器製になります。また、一部の園では、入替のタイミングなどあり樹脂を使っています。

(廣川委員) 近々、入替えの予定はありますか。

(江田保育課長) 現状として直近の入替えは予定していませんが、いずれ入替えの時期が来ると思います。

(金澤教育長) 磁器の方が、樹脂より傷みが少ないですか。

(江田保育課長) 破損はあっても、熱や摩耗などは磁器の方が少ないと思います。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 続いて、長岡市一時預かり事業（幼稚園型）補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明をお願いします。

(江田保育課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) この要綱の改正により、事務の簡略化につながりますか。

(江田保育課長) 審査関係の事務が省略されますので、軽減されると思います。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) これをもちまして、協議報告事項を終了します。

---

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(梅沢中央図書館長) <資料に基づき説明>

(金垣教育部参事) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありますか。

(金澤教育長) 資料では歴史文書館の催しは期間が決まっていますが、常設展として展示しているものですね。

(梅沢中央図書館長) 常設展をメインに、年に何回か催しをしていますので、資料に記載したものは年に何回かのイベントについてです。この期間も常設展として展示をしています。

(金澤教育長) 終戦 80 年のコラボ企画として戦災資料館と何か企画するなど、何か企画はありますか。

(梅沢中央図書館長) 中央図書館で終戦 80 年の企画を予定しています。また、県立歴史博物館で戦災に関係した展示のコラボ企画を予定しています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(廣川委員) 「長岡カブト・クワガタ学」で、限定図鑑を作ったのですか。

(金垣教育部参事) この展示会に合わせて 17 種類を紹介する図録を現在印刷中で、当日販売します。

(廣川委員) 教育委員会発行で作成したのですか。

(金垣教育部参事) そうです。

(廣川委員) 値段はおいくらですか。

(金垣教育部参事) 千円程度と聞いています。是非お求めください。

(廣川委員) 生きている虫の展示もありますか。

(金垣教育部参事) 基本的には標本ですが、飼育の展示として生きているものも展示されます。

---

(金澤教育長) さて今日は、長生幼稚園まんまる、岡南こども園、あすなろこどもえんを訪問しました。何かお気づきの点や、この場で事務局に報告をした方が良い件など、共有しておきたいものがありましたらお願いします。

(廣川委員) 長生幼稚園まんまるは街中にある私立園で、教育長と一緒に訪問しました。今日のテーマは配慮児に関する新規事業ということで、配慮が必要なお子さんに対する個別ケアと、クラス全体のケア、補助金の兼ね合いなどを含めて話を聞いてきました。一番感じた園の困りごとは、情報共有する時間が持てないことです。

人手不足によるリスクマネジメントのルールやガイドラインの設定の難しさなども、多忙感を抱えられていることがベースにありました。小中学校も同じだと思いますが、特性があるお子さんの配慮に関する情報共有が難しいということを改めて感じ、現場の職員だけでなく、例えばゼロ歳児から中学校までに関わる全ての周囲の大人が、そのお子さんの情報を同じくらい知っているということが、とても大切だということを改めて感じました。今はゼロ歳から社会の中で育つことがほとんどですので、保護者の方が知らないことを、周りの関りのある大人が知っているということが増えています。学校の先生やほっとルームの支援の職員の方たちが保護者の方以上にその子のことを知っている可能性がある一方で、保護者の方が持っている情報に関与できない仕組みも依然としてあるので、そのお子さんの困りごとが全体として社会で共有できる仕組みがより必要だと感じました。特性のあるお子さんが思春期になった時に、自分の特性を自己認識できることで周りの大人に助けを求めることができたり、自分の特性を認識して気を付けることができたりするなど、本人が知っておくことも重要になると思います。幼少期から社会全体で本人と一緒に歩んでいけたら良いと実感してきました。

(金澤教育長) 市教委が進めている「みらいのたねサポートチーム」の取組の中で色々な可能性が出てくると思いますので是非検討していきたいと思います。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) あすなろこどもえんに訪問しました。入った瞬間から園長先生が熱心に話してくださいました。私は三人兄弟で、みんな保育園で育ちましたし、私の子どもも保育園で育ちましたので、今回、初めて幼稚園のような教育の場所に行っただのですが、園長先生の熱意に圧倒されました。いつも思うことですが、施設によって、子どもたちの体験の機会、教育の機会に差があるのではと感じていましたし、私立園は商業的な経営がされる部分があるという先入観を持っていましたが、私立のオリジナリティ、熱意、やりたいことをやる、という姿勢が見られる素晴らしい園で圧倒されました。園長さんがとてもエネルギッシュな人であるが故に属人的な働きによってなされている部分もあると思いますし、170名の園児数に対し40人の職員さんがいましたが、取り仕切る中で必ず個々の職員さんの問題もあると想像出来ました。それに対して教育委員会の公立の園が、広く平らに平等に子どもたち

に機会を与える中で、もう少し私立施設に近づくように頑張っていたきたいと、「隣の芝生が青く見える」ではありませんが、機会をもっと子どもたちに用意してあげることが必要だと認識してきました。

(大久保委員) 岡南こども園に行ってきました。園庭がとても広く、田んぼと山に囲まれた本当に良い環境で、体験を大事にしていると園長さんが話していたとおり、とても良い環境で子どもたちが遊んでいるなと思いました。配慮が必要な子どもが17%いる園とのことでしたが、困っていることとしては、配慮が必要だから入園した訳では無く、入園した後に配慮が必要だと分かることが多いと、マンパワーが途中からかかってくるわけですが、なかなかそれを見越して職員を採用することができないため、運営が難しいと話していました。途中で何かが起きた時にも人員を増やすことができる支援などがあると良いということと、もう一つは、他市の小学校に行く年長の配慮が必要なお子さんがいるとのことでしたが、今までに前例が無く、どのような対応をしていくのが良いか分からないという話がありました。誰も知らない環境に行くのも大変だし、馴染んでいる環境から離れることに親御さんも悩まれていると思います。今までにないケース故に、大事に対応してあげると良いと感じました。

(熊倉委員) 私も、岡南こども園を訪問しました。母体がお寺の園であり、仏教保育を中心として命の大切さをベースに置いているということで、安全など非常に配慮しています。ここ数年で特別な配慮が必要な子どもが増えたという印象を、園長先生をはじめ他の先生も持っていました。新型コロナ禍が関係するのか原因は分かりませんが、そういった実感を幼稚園、保育園の現場の方たちが持っていることが分かりました。長岡市の施策が非常に良いと盛んに言われていました。個別支援やクラスルームの支援についても、新潟大学の長澤先生から一人ひとりの支援について指導していただき、非常に助かったと話されていました。具体的には、駄目なところを言うのではなく、よく出来たことを褒めることをスタンダードとして、褒められることについて学ぶことで、特性のある子どもは生きやすいといった指導があり、非常に良かったと話していました。補助金についても有難いと話していて、かなり現場にとって的を得た施策だとわかりました。また、困っていることとしては、要支援の子どもの困り感をなかなか共有できないことがありました。子どもは困って

いると言えない、親御さんに困り感を共有したいが家では困っていない、他の子と比べる機会が少ない中でお子さんの様子を指摘をすることで、園と保護者の距離が開くことになり非常に気を遣って対応しているとのことでした。切れ目のない支援という市の方針からするとこれは極めて大事なところで、園から働き掛けをしても駄目な部分について、三歳児健診などで保健師から子どもの特性について話があることで気付き、他の就学指導などに繋ぐことが出来るものの、その機会がないと、就学児健診の時期まで気付かずにその時期を迎えて慌ててしまうし間に合わないという現場の声がありましたので、五歳児健診が全員が受けられると良いと思いました。保育の現場における保護者と認識の共有の仕方を、市としてどのようなサポートしていけるのか考えていくことも大事だと思いました。

(金澤教育長) 長生幼稚園でも同様な話がでました。保護者の気付きとして、一歳半児健診も大切だと考えます。

(恩田委員) 就学児健診の段階での指摘では遅いとの話がありましたが、私の娘が就学児健診の時に「少し心配なので」と声をかけられ、すこやかファイルを作りましたが、やはりその段階ではなく、もっと早期の気づきが大切で、今日のあすなろこどもえんでは入園して半年くらいの期間で様子をみたり面談をしたりして、保護者と相談を密にして段階的に信頼関係を作っていくことをされている。何かあれば市の相談先を進める手順を、「早期発見、早期治療」と例えられていましたが、私の娘は現在中学生で、フリースクールに通っていますが、早く発見できていたら何か手だてがあったのではないかと感じました。一方で、早く発見するためには現場の労力がかかりかかると思いますので、園長先生の熱意とスタッフの皆さんがどこまで対応できるかは別の話だと思います。

(金澤教育長) 今の話で事務局から何かありますか。

(星野子ども未来部長) 5歳児健診については検討しています。当然ながら全数の5歳児健診を実施したいと思いますし、一番有効であると承知していますが、医師不足という非常に大きな課題があり、医師会の小児科の先生に御協力いただかないと健診として成り立たない状況になると思います。どのようなやり方であれば先生方から御協力いただけるのか、工夫をしなくてはならないと一生懸命検討しているところです。長生幼稚園まんまるで1歳6か月健診の情報をお聞きしたのですが、

昨年度、保育園協会からの御要望として、園にも健診の情報を教えていただきたいという要望があり、健診の際に保護者の方から記載いただく問診票に、情報提供に同意するチェック欄を今年度から設けることで情報提供が可能になりました。これまでは園側には情報提供をしていませんでしたので、情報提供が必要であればさせていただきたいという話をしたいと思います。

(廣川委員) 困りごとがあったら、手をあげることで情報共有の対応ができるということですね。

(星野子ども未来部長) 医療機関からも同じような話をいただいていますので、必要があれば医療機関にも提供できる形を進めようと考えています。予防接種などで病院に訪れた時に、先生方や看護師が少し心配だと思っ様子のお母さんがいることから、情報を共有しましょうという話をしています。

(金澤教育長) 発達プロジェクトでの情報の共有や引継ぎなどの兼合いで、内部での情報共有の重要性と、もう一つは園や学校、保護者とどのようにコンセンサスを持つかが鍵だと思います。かなり難しいですが、クリアできたらみんなで子どもの情報が共有できるスタイルができ、子どもの良い支援に繋がると思います。

(星野子ども未来部長) 岡南こども園でも同じく健診の話が出ていましたので、互いに共有していきたいと思います。

---

(金澤教育長) これをもちまして6月の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員